

参考資料 空から見る復興 (宮城県)

航空写真撮影地点



空から見る復興① 気仙沼市 鹿折地区



鹿折ふれあいセンター
2018年11月開館。
地域コミュニティと生涯学習の拠点。鹿折公民館を移転。

災害公営住宅（鹿折南住宅）
2016年7月完成。284戸。
市民福祉センター やすらぎ
2017年4月開所。
社会福祉を目的とする市民の相互交流を図る施設。

復興祈念公園
2021年3月開園。
追悼と鎮魂の場、防災への思いを新たにする場、地域の復興を実感する場として公園を整備。



土地区画整理（魚町・南町地区）
2021年度完成予定。11ha。
高さT.P.2.8m～3.1mまでかさ上げ。

災害公営住宅（魚町入沢住宅）
2017年2月完成。59戸。
災害公営住宅（魚町二丁目）
2016年8月完成。15戸。

防災集団移転（鹿折北地区）
2016年8月完成。52戸。

土地区画整理（鹿折地区）
2019年9月完成。42ha。
住居系は高さT.P.3.0m～、商業・工業地は高さT.P.1.8m～までかさ上げ。

水産加工施設集積地（鹿折地区）
2016年3月整備完了。11ha。
立地予定事業者22社（内21社稼働中）

防災集団移転（浪板一区地区）
2016年5月完成。17戸。

三陸沿岸道路（気仙沼港IC-唐桑半島IC）
2021年3月開通。

県道大島浪板線
2019年4月 5.5km供用開始。
2019年12月 0.6km供用開始。
2020年10月 1.0km供用開始。
2020年12月 0.2km供用開始。
2021年3月末 0.8km完成予定。

内湾地区海上遊歩道
2020年5月完成。
海上遊歩道の整備により浮見堂が復旧。三代目恵比寿像も寄付により再建され、気仙沼湾のシンボルが復活。



防潮堤（大浦、浪板）
2021年度完成予定。
高さT.P.5.0m、延長1,100m。

防潮堤（内湾）
2021年度完成予定。
高さT.P.5.1m、延長670m。

2020年3月撮影

2020/3/19 Asia Air Survey Co., Ltd.

(注) キャプション図は、自治体HPから引用又は自治体から提供

空から見る復興②

気仙沼市 南気仙沼・赤岩港地区





2016年4月撮影

シャークミュージアム

2014年4月リニューアル。国内唯一の「サメ博物館」。「震災復興ミュージアム」としての顔も持つ。(※)

新魚市場C・D棟

2019年2月完成。閉鎖型荷捌所や低温売場等を備えた高度衛生管理対応型市場。見学スペースや水産情報発信施設、クッキングスタジオを併設。

三陸沿岸道路(気仙沼港IC-唐桑半島IC)

2021年3月開通。気仙沼湾横断部は東北一の斜張橋となる。

土地区画整理(南気仙沼地区)

2020年6月完了。33ha。住居系は高さT.P.3.5m～、商業・工業地は高さT.P.1.8m～までかさ上げ。

水産加工施設集積地(南気仙沼地区)

2016年3月整備完了。18ha。立地予定事業者54社(内44社稼働中)。

(株)みらい造船

2019年6月施設完成。被災した市内の造船4会社が合併。国内3例目となるシップリフト式による上架施設を整備。(※※)



災害公営住宅(幸町住宅)

2016年3月完成。176戸。

防潮堤(朝日町)

2018年度完成。高さT.P.7.2m、延長1,600m。

燃油施設

2019年6月完成。入港漁船に安定した燃油供給を行う目的で整備。



災害公営住宅(内の脇住宅)

2016年8月完成。144戸。

南気仙沼復興市民広場

2021年度完成予定。5.2ha。憩い、競技・スポーツ、運動など多目的利用が可能な広場。

BRT(赤岩港駅)

2020年3月赤岩港駅が新設され、松岩-不動の沢間の専用道3.8kmが開通。

三陸沿岸道路(気仙沼中央IC-気仙沼港IC)

2020年2月供用開始。仙台市から約1時間30分。

防災公園(南気仙沼地区)

2021年度完成予定。2ha。平時は公園、津波襲来時の一時避難地として避難築山を整備。

水産加工施設集積地(赤岩港地区)

2016年11月整備完了。20ha。立地予定事業者12社(うち10社稼働中)。三陸道気仙沼港ICと直結。

2020年3月撮影

2020/3/19 Asia Air Survey Co., Ltd.

(注) キャプション写真・図は、※は気仙沼観光推進機構HPから、※※はみらい造船HPから引用。その他は復興庁撮影

空から見る復興③ 気仙沼市 舞根・浦(唐桑)地区



空から見る復興④ 気仙沼市 階上地区



2011年3月撮影

2011/3/14 Asia Air Survey Co.,Ltd.



2014年3月撮影

2014/3/12 Asia Air Survey Co.,Ltd.

空から見る復興④

気仙沼市

階上地区



2016年4月撮影

三陸沿岸道路（大谷海岸IC-気仙沼中央IC）
2018年3月供用開始。仙台市から約1時間20分。
岩井崎IC
2018年3月供用開始。

防潮堤（沖ノ田海岸）
2020年11月完成。
高さT.P.9.8m、延長390m。

防潮堤（御伊勢浜海岸）
2020年11月完成。
高さT.P.9.8m、延長520m。

防潮堤（岩井崎海岸）
2021年2月完成。
高さT.P.9.8m、延長約1,170m。

岩井崎
潮吹岩で知られる市内有数の景勝地。
龍の松
津波の後に1本だけ残った松が、天に昇る龍のように見える。
(※)



ほ場整備（杉ノ下工区）
2021年度完了予定。47ha。
2017年から「南三陸ねぎ」の作付けが開始。

気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館
2019年3月オープン。
震災遺構（気仙沼向洋高校旧校舎）と伝承館を併設した施設。津波の脅威を伝える映像シアターや語り部活動を行う講話室等を備える。



防災集団移転（大谷地区）
2016年6月完成。40戸。
災害公営住宅（大谷地区）
2016年9月完成。72戸。

気仙沼向洋高校（新校舎）
2018年7月供用開始。
水産業の発展と振興に寄与する人材育成に取り組んできた学校。
被災した旧校舎は震災遺構に。

防災集団移転（階上長磯浜地区）
2015年9月完成。64戸。

災害公営住宅（階上地区）
長磯浜南 2015年3月完成。20戸。
長磯浜北 2015年7月完成。56戸。
長磯原 2016年6月完成。18戸。
森前林 2016年9月完成。12戸。

2020年3月撮影

2020/3/19 Asia Air Survey Co.,Ltd.

(注) キャプション写真は、※は東北地方整備局HPから引用。その他は復興庁撮影

空から見る復興⑤ 南三陸町 志津川地区



空から見る復興⑤ 南三陸町 志津川地区



2016年4月撮影

三陸沿岸道路志津川IC
2016年10月供用開始。
仙台市から約1時間、
さんさん商店街まで約5分。

南三陸さんさん商店街
2017年3月にオープンした本設商店街。
隈研吾氏が設計。
飲食・菓子・鮮魚・産直など
28事業者が出店。(※)

生涯学習センター
2019年4月オープン
公民館と図書館を併せ持
つ施設。南三陸町産の杉
をふだんに使用。

防災集団移転(西地区) 2ha
2016年11月完成。70区画。
災害公営住宅
2016年11月完成。82戸。

防災集団移転(中央地区) 16ha
2016年12月完成。135区画。
災害公営住宅
2017年3月完成。147戸。

震災復興祈念公園
2020年10月に全面開園。
犠牲者を悼み、その記憶
と教訓を風化させること
なく次の代へ受け継ぐ公
園。旧防災対策庁舎を震
災遺構として保存。

防災集団移転(東地区) 25ha
2016年10月完成。140区画。
災害公営住宅
2017年1月完成。265戸。

高野会館(震災伝承施設)
当時の地上レベルや津
波浸水高を実感でき、
屋上からは南三陸町の
復興状況を一望できる。
(※※)

防潮堤
2021年度完成予定。
高さT.P.8.7m、
延長320m。

防潮堤
2020年5月完成。
高さT.P.8.7m、延長350m。

結の里
2018年4月開所。町社会福祉
協議会が実施する高齢者デ
ィサービスや見守り、介護予防、
子育て支援などの拠点施設。

中橋
2020年10月完成。
観光・交流拠点と祈念
公園とを結ぶ歩道橋。
延長約80m。

土地区画整理(志津川地区) 60ha
2021年3月完了。
防潮堤や河川堤防(T.P.=8.7m)と
調和する高さまでかさ上げ。

南三陸町地方卸売市場
2016年6月完成。2018年1月優良
衛生品質管理市場・漁港認定
取得。水揚量は約7トン(2018年)。

2020年3月撮影

2020/3/18 Asia Air Survey Co. Ltd.

(注) キャプション写真は、※は南三陸町観光協会HPから、※※は東北地方整備局HPから引用。その他は自治体HP又は復興庁撮影

空から見る復興⑥ 南三陸町 戸倉地区



2014年3月撮影

2014/3/12 Asia Air Survey Co.,Ltd.

戸倉地区子育て支援拠点施設
2016年1月完成。
子育て支援センター、放課後児童クラブ、戸倉保育所からなる施設。



防災集団移転（西戸・折立・水戸辺・在郷地区 西戸団地）
2015年3月完成。7戸。

ほ場整備（西戸川工区）
2021年度完了予定。30ha。
2015年営農開始。



防災集団移転（西戸・折立・水戸辺・在郷地区 戸倉団地）
2016年3月完成。84戸。
災害公営住宅
2016年2月完成。80戸。

防潮堤
2021年3月完成。
高さT.P.8.7m。延長220m。

防潮堤
2021年度完成予定。
高さT.P.8.7m。延長540m。

海のビジターセンター
2016年11月オープン。
三陸復興国立公園や周辺の自然の情報を発信。（※）



南三陸町自然環境活用センター
2019年11月完成。
恵まれた自然環境を活用し、人材育成や交流人口の増加を図り地域の活動につなげていく交流拠点。ラムサール条約登録湿地「志津川湾」での地域資源の発掘と調査・研究も実施。



2.7km先

2020年3月撮影

2020/3/18 Asia Air Survey Co.,Ltd.

（注）キャプション写真は、※は東北地方環境事務所HPから引用。その他は自治体から提供又は復興庁撮影

空から見る復興⑦ 女川町 出島



2014年3月撮影

2014/3/12 Asia Air Survey Co.,Ltd.

防災集団移転（出島）
2014年2月完成。1戸。
災害公営住宅
2014年8月完成。24戸。



防災集団移転（寺間）
2015年5月完成。1戸。
災害公営住宅
2015年12月完成。6戸。

寺間漁港

県道出島線

出島架橋
2024年度完成予定。
事業延長2,920m（橋梁部分360m）。

2020年3月撮影

2020/3/18 Asia Air Survey Co.,Ltd.

(注) キャプション写真は復興庁撮影

空から見る復興⑧ 女川町 女川地区



2014年3月撮影

2014/3/14 Asia Air Survey Co.,Ltd.

宿泊村「エルファロ」
2017年8月移転オープン。
40台のトレーラーハウスを活用、最大195名が宿泊可能。

女川駅（女川温泉ゆほっぼ）
2015年3月新駅舎にて再開
駅舎に温泉施設「女川温泉ゆほっぼ」を併設。
石巻駅からJR石巻線で26分。

「いのちの石碑」プロジェクト
2013年に当時の中学生たちが開始。
町内21の浜に石碑を立て、津波の
記憶と教訓を伝承するもの。
2021年3月現在、19の石碑が完成。



女川町新庁舎
2018年10月供用開始。
・役場庁舎
・生涯学習センター
（ホール、研修室、図書室）
・保健センター
（保健指導室、調理実習室、栄養指導室）
・子育て支援センター
（プレイルーム、一時預かりスペース）



駅前商業エリア
・シーバルピア女川 2015年12月オープン。
小売店や飲食店、工房などが並ぶテナント
型商業施設。
・まちなか交流館 2015年12月供用開始。
150人収容のホールや音楽スタジオを備える多目的ホール。
・地元市場「ハマテラス」 2016年12月オープン。
鮮魚や水産加工品などの特産品の販売や飲食メニューの
提供など、「海」をコンセプトに8店舗が出店。
・2018年度都市景観大賞「都市空間部門」国土交通大臣賞
（最高賞）、2018年アジア都市景観賞受賞。
・土木学会デザイン賞2019「最優秀賞」受賞。



女川小・中学校
2020年8月供用開始。
合築施設一体型の小中一貫教育校。

冷凍冷蔵施設「マスカー」
2012年10月稼働開始。
冷蔵6,000トン、冷凍50トン。
カタール国の支援を受けて建設。

震災遺構(旧女川交番)
2020年2月公開。
津波で倒壊した状態のまま
保存。周辺で女川町
海岸広場の整備も進む。



女川スーパー「おんまえや」
2020年3月オープン。
被災した町内唯一のスーパー
が9年ぶりに本設再開。

女川町地方卸売市場
東・中央・西の3つの荷捌場を
順次整備し、2017年完成。
管理棟には食堂もあり。



離島航路ターミナル
2019年7月完成。

2020年3月撮影

2020/3/18 Asia Air Survey Co.,Ltd.

(注) キャプション写真は、自治体HPから引用、自治体から提供又は復興庁撮影

空から見る復興⑨ 石巻市 新蛇田地区



2014年3月撮影

2014/3/14 Asia-Air-Survey Co., Ltd.



復興公営住宅 (A街区)
2015年3月 20戸完成
2016年3月 73戸完成



土地区画整理 (新蛇田地区)
2017年度完了。46.5ha。計画人口3,300人。
計画戸数1,265戸 (戸建730・復興公営535)。
2016年度 都市景観大賞 (都市空間部門) 「特別賞」受賞。

復興公営住宅 (E街区)
2015年3月完成。43戸。

復興公営住宅 (F街区)
2015年3月完成。59戸。



復興公営住宅 (B街区)
2015年7月完成。59戸。

復興公営住宅 (G街区)
2015年3月完成。80戸。

イオン石巻店

蛇田中学校

石巻河南 I C
仙台市から約50分。

復興公営住宅 (C街区)
2015年7月完成。121戸。

復興公営住宅 (D街区)
2016年3月完成。80戸。

復興公営住宅 (A地区)
2016年1月完成。207戸。

宮城県
石巻合同庁舎

近隣公園

JAIのまき

土地区画整理 (新蛇田南第二地区)
2018年度完了。13.7ha。

土地区画整理 (新蛇田南地区)
2018年度完了。27.4ha。
計画人口1,990人。
計画戸数765戸 (戸建376・復興公営389)。

2020年3月撮影

2020/3/18 Asia-Air-Survey Co., Ltd.

(注) キャプション写真は、自治体HPから引用又は復興庁撮影

空から見る復興⑩ 石巻市 魚町地区、南浜・新門脇地区



2014年3月撮影

2014/3/11 Asia Air Survey Co.,Ltd.

津波復興拠点整備（石巻駅周辺地区）

- ・防災センター 2018年3月完成。
- ・歩行者デッキ 2019年4月完成。
- ・にぎわい交流広場 2020年1月完成。
- ・ささえあいセンター 2020年3月完成。

市街地再開発（立町二丁目5番地区）

2016年度完成。

市街地再開発（中央三丁目1番地区）

2015年度完成。

内海橋

2020年9月完成。

いしのまき元気いちば

2017年6月オープン。

新鮮な魚介類をはじめ、味自慢の水産加工品や地場産品を販売。2階の食堂では旧北上川河畔の風景を眺めることもできる。近隣に立体駐車場も完備。



幼稚園・保育所等複合化・多機能化（湊こども園・みなと荘）

2015年3月完成。

市街地再開発（中央一丁目14・15番地区）

2016年度完成。

石巻かわみなと大橋

2021年度完成予定。

水産加工団地

魚市場や水産加工業・冷蔵倉庫の復旧も進んでいる。

防潮堤（雲雀野・工業港付近）

2020年度末完成予定。
高さT.P.3.5m、7.2m、
延長約17km（東松島市域を含む）。

石巻南浜津波復興祈念公園

2021年3月開園。約38.8ha。
県内でも甚大な被害のあった南浜・門脇地区にて、国・宮城県・石巻市が連携し、震災復興祈念施設（式典広場等）、市民活動に適した広場等の整備を行う。



震災遺構（旧門脇小学校）

2021年度整備完了予定。
震災の事実と教訓、復旧・復興への思いをすべての人々へ伝え続けるため、祈念公園や日和山を含めた「震災伝承エリア」の主要施設と位置づけ、部分保存。



2020年3月撮影

2020/3/18 Asia Air Survey Co.,Ltd.

（注）キャプション写真は、自治体HPから引用又は復興庁撮影

空から見る復興⑪

石巻市

鮎川浜地区



(注) キャプション写真は、自治体HPから引用又は復興庁撮影

空から見る復興⑫ 東松島市 野蒜・東名地区



2014年3月撮影

2014/3/14 Asia Air Survey Co., Ltd.



鳴瀬未来中学校
2018年1月供用開始。
(2013年4月に鳴瀬第一中学校と鳴瀬第二中学校が統合して誕生)

防災集団移転(野蒜北部丘陵団地)
2016年11月完成。91.5ha。277区画。
災害公営住宅
2017年6月入居開始。170戸。

野蒜地区津波防災拠点施設
(野蒜市民センター・観光物産交流センター)
2016年11月供用開始。
地元産品の販売のほか、観光情報コーナーを設置。



復興の森
C.W.ニコル氏が手がけたもので、宮野森小学校校舎背後の山林約10haにツリーハウスや展望デッキ等を整備し、自然と触れ合う場として再生。

宮野森小学校
2017年1月供用開始。
(2016年4月野蒜小学校と宮戸小学校が統合して誕生)

防潮堤(東名海岸～大東海岸)
高さT.P.4.3m、延長3,986m。

奥松島運動公園
現在整備中。
マレットゴルフ場、体育館、テニスコート、野球場、多目的グラウンド、子ども広場等を整備予定。

防災体験型宿泊施設(KIBOTCHA:キボッチャ)
2018年7月オープン。
被災した旧野蒜小学校を改修した、遊んで学べる防災体験施設。
避難所としての機能に加え、地域活性化に資するため食堂や宿泊施設等も備える。



JR仙石線移設
2015年5月運転再開。
野蒜北部丘陵団地内に2駅(野蒜駅・東名駅)設置。

東松島市東日本大震災復興祈念公園
・震災復興伝承館
2016年10月オープン。
旧野蒜駅舎を展示施設として活用。
・震災遺構(旧野蒜駅プラットフォーム)
震災の記憶と教訓の後世への伝承、防災意識の醸成。
・祈念広場
2017年11月供用開始。
追悼及び鎮魂の場として、また、震災の記憶と教訓を広く後世に伝え、鎮魂の想いと共に生きる大切さを分かち合う場として設置。



防潮堤(大曲海岸～洲崎海岸)
高さT.P.7.2m、延長9,235m。

2020年3月撮影

2020/3/18 Asia Air Survey Co., Ltd.

(注) キャプション写真は、自治体HPから引用又は復興庁撮影



2014年3月撮影

2014/3/11 Asia Air Survey Co.,Ltd.



石田沢防災センター避難場所
 2017年完成。2.0ha。
 災害時には防災拠点として、通常時は無料休憩所のほか防災に関する啓蒙啓発の拠点として利用。



松島公園防災緑地
 2020年11月完成。6.0ha。
 津波の衝撃を緩和する目的。



三十刈避難場所
 2017年完成。2.4ha。

西行戻しの松公園避難場所
 2015年完成。2.0ha。
 展望台からは松島湾、塩竈湾を一望、敷地内のカフェ「ロマン」ではフランス菓子などを提供。



JR松島海岸駅

松島海岸公園避難施設（明月庵）
 2016年完成。
 敷地内には伊達政宗ゆかりの観瀾亭があり、抹茶などが提供されている。



防潮堤
 高さT.P.2.1m。延長1,670m。

渡月橋
 2013年復旧完了。
 松島の地名発祥の地といわれる雄島に架かる橋。



観光施設「宮城県 松島離宮」
 2020年10月オープン。（※）



松島湾

2020年3月撮影

2020/3/18 Asia Air Survey Co.,Ltd.

(注) キャプション写真は、※は（一社）東北観光推進機構HPから引用。その他は自治体HP又は復興庁撮影

空から見る復興⑭ 利府町 浜田地区



2014年3月撮影

2014/3/11 Asia Air Survey Co.,Ltd.



避難場所2
2017年2月、浜田線沿いに完成。
170m。

避難場所3
2017年2月、浜田線沿いに完成。
220m。

町道浜田線
2017年2月供用開始。
延長918m、幅員6mを
避難道路として整備。

防潮堤
2020年3月完成。
高さT.P.2.1m、延長752m。
隣接する宿泊施設や飲食店を津波から防護。

浜田地区防災拠点 (避難場所1)
2015年10月完成。1,782m。
避難施設と防災備蓄倉庫を備える。



浜田復興交流センター構想
町の事業として、「海の駅、道の駅、鉄の駅」の構想がある。事業時期は未定。



漁港施設 (地盤かさ上げ、道路整備)
2018年完成。
施設内には地元浜田牡蠣の直売所や「カキ焼き処」がオープン。時間内食べ放題で焼き牡蠣を提供。

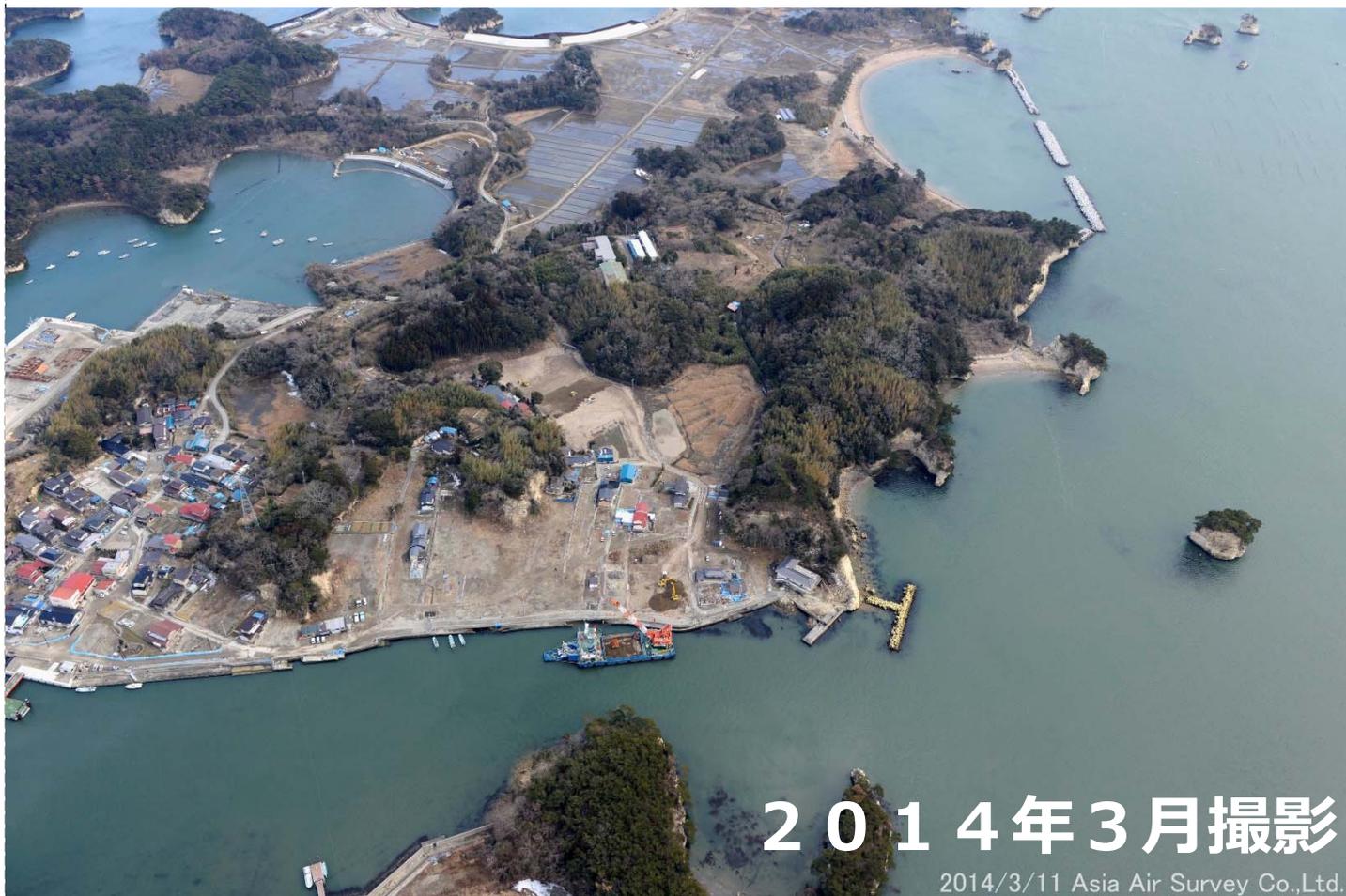


2020年3月撮影

2020/3/18 Asia Air Survey Co.,Ltd.

(注) キャプション写真及び図は自治体HPから引用

空から見る復興⑮ 塩竈市 寒風沢島



2014年3月撮影

2014/3/11 Asia Air Survey Co.,Ltd.



防潮堤（寒風沢（前浜）地区）
2018年完成。高さT.P.4.3m。

漁港施設災害復旧
（寒風沢漁港物揚場）



防災集団移転（寒風沢地区）
災害公営住宅

2015年10月完成。11戸。
板倉工法による集会所も整備。
多くの地元木材を使用し、地元の
林業・製材業の再興へも配慮。（※）



2020年3月撮影

2020/3/18 Asia Air Survey Co.,Ltd.

（注）キャプション写真は、※はUR都市機構HPから引用。その他は自治体HP

空から見る復興⑬ 七ヶ浜町 七ヶ浜地区



2014年3月撮影

2014/3/14 Asia Air Survey Co.,Ltd.



2020年3月撮影

2020/3/18 Asia Air Survey Co.,Ltd.

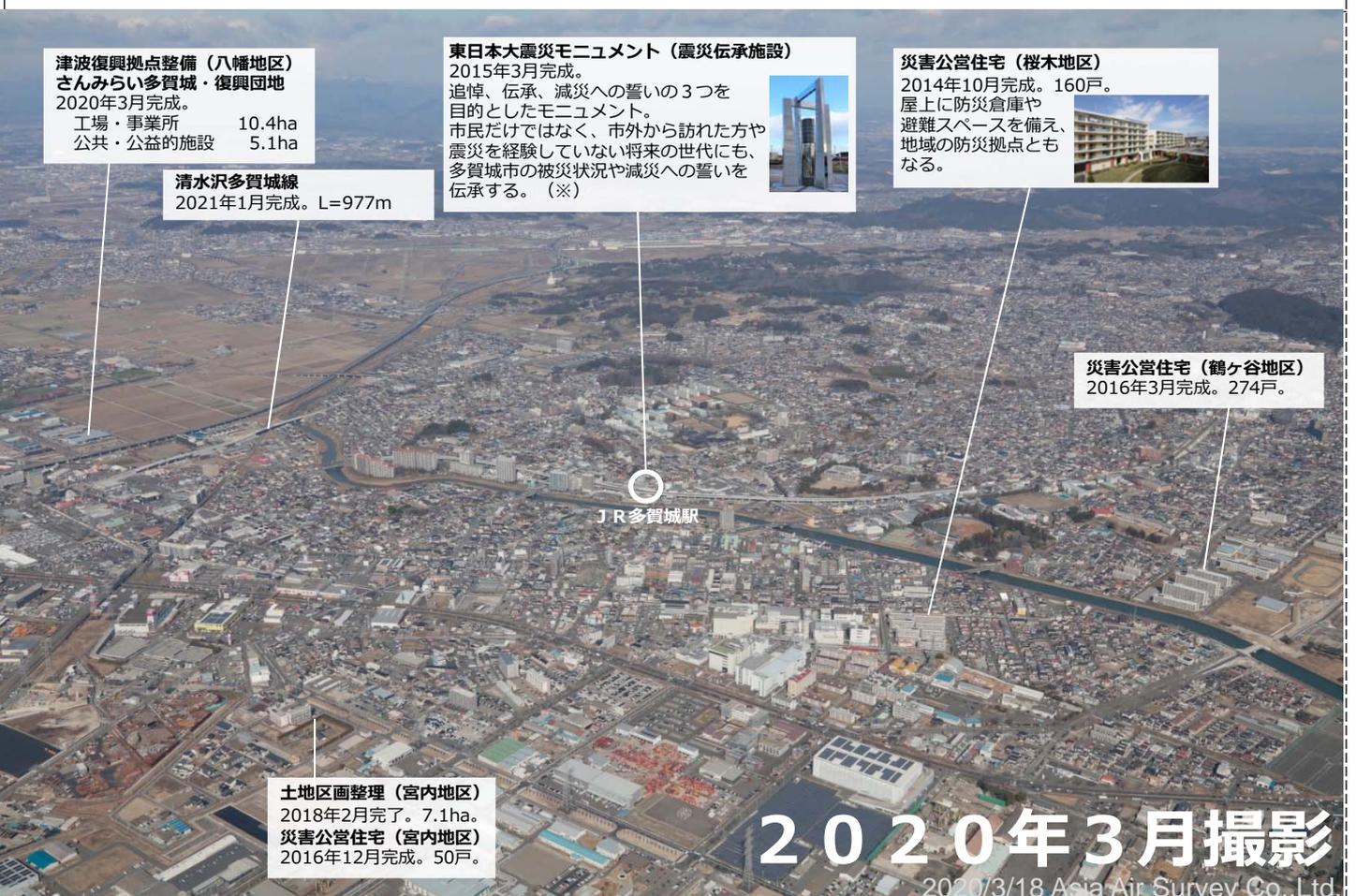
(注) キャプション写真は自治体HPから引用

空から見る復興⑰ 多賀城市 桜木・八幡地区



2014年3月撮影

2014/3/11 Asia Air Survey Co.,Ltd.



津波復興拠点整備（八幡地区）
さんみらい多賀城・復興団地
2020年3月完成。
工場・事業所 10.4ha
公共・公益的施設 5.1ha

清水沢多賀城線
2021年1月完成。L=977m

東日本大震災モニュメント（震災伝承施設）
2015年3月完成。
追悼、伝承、減災への誓いの3つを
目的としたモニュメント。
市民だけではなく、市外から訪れた方や
震災を経験していない将来の世代にも、
多賀城市の被災状況や減災への誓いを
伝承する。（※）



災害公営住宅（桜木地区）
2014年10月完成。160戸。
屋上に防災倉庫や
避難スペースを備え、
地域の防災拠点とも
なる。



災害公営住宅（鶴ヶ谷地区）
2016年3月完成。274戸。

JR多賀城駅

土地区画整理（宮内地区）
2018年2月完了。7.1ha。
災害公営住宅（宮内地区）
2016年12月完成。50戸。

2020年3月撮影

2020/3/18 Asia Air Survey Co.,Ltd.

（注）キャプション写真は、※は東北地方整備局HPから引用。その他は自治体HP

空から見る復興⑱ 仙台市 仙台港



空から見る復興⑱ 仙台市 仙台港



2016年4月撮影



新規防潮堤（仙台港区）
2021年度完成予定。
高さT.P.4.0m、7.2m、延長9.2km。
周辺の臨港道路にフェンス等を整備し、
住宅地区などへの漂流物の流出を防ぐ。

仙台塩釜港（仙台港区）
2018年の取扱貨物量は4,228万トン
(2010年の1.27倍)。
主品目：完成自動車、フェリー貨物、
原油、重油、バルブ

浦生干潟（自然再生対象区域）
多様な渡り鳥が四季を通じて生息。
絶滅危惧種であるコアシサシの繁
殖地であり、国指定天然記念物で
あるコクガンの越冬地として貴重。
すぐそばには、
日本一低い山
(日和山: 3m) も。

土地区画整理（浦生北部地区）
2021年度完了予定。92.1ha。
防災集団移転後の土地の整理集
約と都市基盤の再整備。
物流倉庫等の立地が
進んでいる。

仙台うみの杜水族館
2015年7月オープン。
4年で入館者数500万人を突破。
三陸沖の海を再現した水量約1,000トン
の大水槽には、50種類25,000匹の
生物を展示。
イルカ・アシカ・バード
によるパフォーマンスも
人気。

七北田川

2km先

仙台港フェリーターミナル
苫小牧～仙台～名古屋を結ぶ国
内最長の定期航路の発着地。
航行中のフェリー船内ではアト
ラクションも充実。

夢メッセみやぎ（みやぎ産業交流センター）
展示会や商談会の開催、支援な
どを通じて県産業の振興や県民
文化の向上に寄与。(※)

0.5km先

2020年3月撮影

2020/3/18 Asia Air Survey Co. Ltd.

(注) キャプション写真は、※は「（一財）みやぎ産業交流センター」から引用。その他は自治体HP・自治体提供

空から見る復興⑬ 仙台市 荒井地区



2014年3月撮影

2014/3/11 Asia Air Survey Co.,Ltd.



仙台東地区

除塩・農地復旧・施設復旧を行い、2015年度に全ての農地で営農再開。2019年3月には農地の大区画化工事が完了(1,900ha)。2021年3月区画整理完了。

周辺は「イグネ」と呼ばれる屋敷林が多く、水田地帯に浮かぶ景色は、まさに「緑の浮島」。



土地区画整理(荒井地区)

2018年3月完了。約149.9ha。仙台市地下鉄東西線の開通に合わせて起点となる荒井駅周辺を整備し、新たな街が誕生。防災集団移転先としての機能も。居住人口は約2倍(11,000人)に。

仙台市街地

仙台ギグス(SENDAI GIGS)

2018年5月オープン。スタンディング1,500人収容の多目的ライブホール。仙台東部エリアの新たな文化の発信拠点として期待される。



仙台市地下鉄 荒井駅

せんだい3.11メモリアル交流館

2016年2月オープン。震災被害や復旧・復興の状況を伝える展示、交流スペース。入場無料。



仙台東IC

防災集団移転(荒井東地区)

2014年度完成。136区画(うち、民間住宅等用地52区画)。

復興公営住宅

2014年2月 197戸完成
2014年11月 15戸完成
2015年5月 101戸完成

2020年3月撮影

2020/3/18 Asia Air Survey Co.,Ltd.

(注) キャプション写真は、自治体HPから引用又は復興庁撮影

空から見る復興⑳ 仙台市・名取市 名取川河口





2016年4月撮影

海岸堤防（仙台湾南部海岸）

2017年3月完成。
高さT.P.7.2m、
延長約29km（名取海岸の約4kmを含む）。

海岸防災林

2021年3月完成。
自然環境と海辺の景観を再生。
青森県八戸市から福島県相馬市まで続く「みちのく潮風トレイル」にも指定。

アクアイグニス仙台（食・農・温泉施設）

2022年度オープン予定。
敷地面積34,000㎡、延床面積10,300㎡。
温泉施設に、地元食材を取り入れた有名シェフ監修の農園レストラン、ベーカリー、マルシェ、物販棟を備えた食農連携のリゾート複合施設。

貞山運河

阿武隈川河口～松島湾までの延長28.9km。
伊達政宗公の命により約300年にわたり開削と維持が続けられ、かつては、年貢米や木材などを積んだ舟が盛んに行き交った。

集団移転跡地活用（仙台市藤塚地区）

全体面積 11.3ha。
公共利用ゾーン（*）、事業者利活用ゾーン、太陽光発電事業用地の3つの用途の連携。
* 井土浦の干潟などの環境保全、隣接する海岸公園を生かした自然体験・学びの場。
2021年3月末完成予定。



閉上水産加工団地

4.7ha。
順調に水産加工業の立地が進んでいる。

閉上漁港

名取川

かさ上げ道路

（東部復興道路ほか）
2019年11月全線開通。
盛土高6m、延長10.2km。
海岸堤防、海岸防災林に続く津波被害を軽減させる機能を持つ、多重防御の要。

土地区画整理（名取市閉上地区）

2020年3月完了。56.8ha。3～4mかさ上げ。
2019年5月に「まちびらき」を実施。
震災メモリアル公園、フィッシャーリーナ、サイクルスポーツセンター、温泉等数々の観光・レジャー施設が整備。
復興公営住宅463戸
2018年12月完成



みちのく潮風トレイル 名取トレイルセンター

トレイル全線の情報に加え、会議室やラウンジなど、ハイカーや住民、観光客がくつろぎ、交流できる空間を提供。



かわまちてらす閉上

2019年4月オープン。
名取川堤防沿いに建設された復興商店街。
地元食材を集めたフードコートも充実。



2020年3月撮影

2020/3/18 Asia Air Survey Co., Ltd.

（注）キャプション写真等は、自治体から提供又は復興庁撮影

空から見る復興②① 岩沼市 玉浦西地区



東日本大震災前の風景

2014年3月撮影

2014/3/14 Asia Air Survey Co., Ltd.



災害公営住宅
2015年3月完成。178戸。
地区内の3か所に整備。

公園
それぞれのテーマで4か所の公園を整備。

集会所 公園内に3か所。

東保育所
津波で被災した保育所を再建し、子育て支援センターを併設。

商業施設
2015年7月オープン。
地元の農産物・海産物を扱う産直コーナーや、地元食材を使った飲食コーナー「ふれあいテラス」なども完備するスーパー。

貞山緑道
4か所の公園を結び、地区の東西を貫く歩行者専用道路。

飲料水タンク
緊急用に備蓄。
地元中学生のデザインによる。

玉浦西地区の概要
沿岸部6地区の住民らが移転。
宅地造成工事：2012年8月～2014年4月
総工費：196億円（隣接地区含む）
造成面積：19.96ha
宅地：158区画
2016年日本都市計画学会「石川賞」受賞、
2015年日本都市計画家協会「優秀まちづくり賞」受賞。

2020年3月撮影

2020/3/18 Asia Air Survey Co., Ltd.

(注) キャプション写真は、自治体HPから引用又は自治体から提供

空から見る復興② 巨理町 荒浜地区



2014年3月撮影

2014/3/14 Asia Air Survey Co., Ltd.



2020年3月撮影

2020/3/26 Asia Air Survey Co., Ltd.

災害公営住宅
(荒浜西木倉地区)
2014年8月完成。100戸。



防災集団移転 (荒浜中野地区)
2014年5月完了。32区画。
災害公営住宅
2014年10月完成。28戸。



鳥の海公園
2018年4月開園。
陸上、サッカー、野球の各競技場
と海拔9mの避難丘を持つ。
夏まつりの会場にも使用。



荒浜にぎわい回廊商店街
2015年3月オープン。
被災した店舗が集結。飲食店、
海産物販売店、サーフショップ
など。



きずなぼーとわたり
2014年10月完成。
1階の「鳥の海ふれあい市場」では
地元産の魚介類、農産物を販売。
特にいちごが人気(※)。



いちご団地
東北一のいちご生産の復活のため、
町内3か所に大型施設を整備。



防潮堤
高さT.P.3.6m。

防潮堤
高さT.P.7.2m。

多目的広場
2020年3月完成。

わたり温泉 鳥の海
2014年10月日帰り入浴再開。
「はらこめし」など季節の料理も提供。



露天風呂

(注) キャプション写真は、※は宮城県沿岸部情報サイト「みやぎ海への旅案内」から引用。その他は自治体HP又は復興庁撮影

空から見る復興⑳ 山元町 新山下駅周辺地区



2014年3月撮影

2014/3/14 Asia Air Survey Co.,Ltd.

山元町役場

2019年5月供用開始。
震災で被害を受けた庁舎は解体。
プレハブ庁舎を経て、「復興の
シンボル」であるハード整備の
総仕上げとして
新築復旧。



山下第二小学校

2016年8月供用開始。
津波被害を受け、
移転復旧。



山元町子育て拠点施設

2016年7月供用開始。
「つばめの杜
保育所」と
「こどもセン
ター」で構成。



津波防災拠点整備・防災集団移転

(つばめの杜地区) 37.4ha
2016年10月に「まちびらき」を実施。
(新)山下駅と国道6号を軸としたコンパ
クトなまちづくり。

いちご団地

東北でも有数のいちご産地の復
活に向け、栽培施設を整備。
2014年11月、第1～第4団地に
参加する農家52戸全戸で出荷が
スタート。



(新)山下駅

町内全線不通となったJR常磐線
約12kmを内陸移設し、高架化。
(新)山下駅も内陸に約1.1km移設
復旧し、2016年12月運行再開。
仙台駅から約45分。

山元町防災拠点・

山下地域交流センター
「つばめの杜ひだまりホール」
2017年10月供用開始。

避難道路整備

復興公営住宅(つばめの杜地区)

2016年3月完成。346戸。
第1期分(2013年6月完成)の50戸
は県内で最も早く引き渡された。

やまもとひまわり祭り

(7～8月頃開催：新浜・笠野地区)

震災から復旧し大区画のほ場として整備された
広大な農地に、約250万本の
ヒマワリが一面に咲き誇る
様子は圧巻。



2020年3月撮影

2020/3/26 Asia Air Survey Co.,Ltd.